

第2回 仙台I ソンタクラブ 東北大学大学院
女子学生のための国際学会発表渡航支援事業 報告書

平成 30年 8月 18日 記入

所属部局名：理学研究科
学 年：博士課程前期 1年
氏 名：原 智美

1. 渡航先
ボストン（アメリカ）
2. 参加国際学会等の名称
Goldschmidt2018
3. 開催期間
8月12日～8月17日
4. 旅行期間
8月11日～8月18日
5. 発表演題
In situ Sr-Pb Isotope Geochemistry of Lawsonite: A New Method to Investigate Slab Fluid
6. 参加した国際学会等の状況並びに感想
地球化学界を代表する学会 Goldschmidt には、多様な国籍を持つ多くの研究者・学生が参加していました。連日多くの発表に足を運び、今後の研究のヒントを得ました。中には論文でよく目にする著名な研究者の発表もあり、それに対する質疑応答のレベルの高さにも強く刺激を受けました。私自身の口頭発表は、学会側の用意したプレゼンテーションのワークショップにより質の良い発表となり、貴重な意見を質疑応答でいただいた上、ポスター発表の会場でも話しかけられ研究者と議論を交わすことができました。一人での海外渡航・宿泊も含め、非常に貴重な体験ができ、本事業により、このような経験を積むことができましたことを感謝申し上げます。
7. 本事業に対する要望等

時期により渡航費が高額になるため、可能ならば渡航支援の上限額がもう少し上がると良いと思いました。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台 I ソンタクラブ」への事業成果報告として提出します。

※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。